

# 2020年 スミセイ コミュニティスポーツ 推進助成プログラム [新規助成]

～コミュニティスポーツによる  
健やかな暮らしと文化の醸成～

チャレンジコース: 50万円まで  
アドバンスコース: 300万円まで  
(助成期間2年間合計)



応募受付期間 2020年 8月25日(火)～9月25日(金) 必着

公益財団法人 住友生命健康財団

# 2020年 スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム【新規助成】

## 応募要項

### ～コミュニティスポーツによる健やかな暮らしと文化の醸成～

応募受付期間 2020年8月25日(火)～9月25日(金) 必着

住友生命健康財団では、2010年に財団設立25周年を記念し、「スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム」を開始しました。

私たちは、コミュニティスポーツを「地域において様々な人々が、楽しみながら参加・交流し、スポーツを通じて一人ひとりの健やかな暮らしの実現をめざす取り組み」と捉えています。本プログラムでは、スポーツを楽しむ文化が地域に根つき、社会の新しい価値を創り出すような取り組みを応援します。

コミュニティスポーツにかかわる全国の皆さまからのご応募をお待ちしています。

なお、このプログラムは、市民社会創造ファンドの企画・運営協力の元を実施します。



## 助成対象プロジェクト

助成の対象となるプロジェクトの枠組みは、次の2種類です。

【一般】地域の中で一人ひとりの健やかな暮らしの実現につながるコミュニティスポーツ

【特定】心身の障がいや長期療養などにより社会参加が困難な状況にある人と共に楽しめるコミュニティスポーツ

### <助成対象プロジェクトの例>

- ・地域の資源(人材、自然、施設など)を活かしたコミュニティスポーツの実践
- ・障がい、長期療養、セクシャルマイノリティ、外国にルーツを持つ当事者や家族も共に楽しめるコミュニティスポーツの実践
- ・多世代がともに楽しめるコミュニティスポーツの実践
- ・将来世代にわたって受け継がれるようなスポーツの価値を活かした実践(国際的なスポーツ大会から生まれた市民活動や、地域の伝統とスポーツの融合など)
- ・新たな視点や工夫をもったコミュニティスポーツの実践
- ・その他、趣旨に合った独自性のあるコミュニティスポーツの実践

\*助成対象プロジェクトには、実践に必要な調査・研究、およびプロジェクトの評価やその普及・発展のための「実践研究」も含まれます。但し、実践を伴わない研究は含みません。

## 助成の対象となる団体

以下の要件を満たすものとします。

① 日本国内に活動拠点のある民間の非営利団体(法人格の種類や有無を問わない)で、団体としての活動実績があること。

\*アドバンスコースでは原則として応募時点で2年以上の活動実績があること。

② 団体の目的や活動が政治・宗教などに偏っておらず、反社会的勢力とは一切関わっていないこと。

\*助成対象となる団体は、スポーツ分野を専門とする団体に限りません。  
なお、個人は対象になりません。

## 助成種別

助成対象プロジェクトは、以下の取り組みの視点によって、2種類に分けられます。

### ① チャレンジコース

助成期間1年 50万円以下(1年間分) 15件程度

地域におけるコミュニティスポーツのチャレンジと、その後の自立・発展をめざすもの

### ② アドバンスコース

助成期間2年 300万円以下(2年間合計) 5件程度

地域を超えたコミュニティスポーツの展開や、特定の地域におけるコミュニティスポーツの深化をめざすもの

\*1年ごとの助成金額は、プロジェクトの内容に応じて50万円から250万円の間で自由に設定のうえ応募ください。

## 助成期間

助成期間は助成種別により、以下のとおりとなります。

### ① チャレンジコース

2021年4月1日～2022年3月31日(1年間)

\*コミュニティスポーツのチャレンジとその自立・発展に必要な場合には連続して応募することも可能です。(2年間を上限とします)

### ② アドバンスコース

2021年4月1日～2023年3月31日(2年間)

\*2年目の助成については、初年度の活動の進捗に問題がないこと、並びに、該当年度の当財団における予算承認が完了することが条件となります。

## 選考方法

財団が委嘱する学識経験者・実践者・財団関係者で構成する選考委員会(選考委員長 中野泰三郎 元日本バレーボール協会会長、委員6名)において、次項の選考の視点により選考します。アドバンスコースについては、提出された応募企画書による選考の他、ヒアリングを行う場合があります。

## 選考の視点

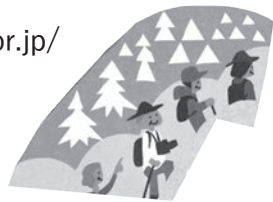
- さまざまな人たちが参加し、地域に根ざした活動であること
- 意欲的で新たな取り組みであること
- 企画内容（方法、体制、予算など）が目的に照らして十分に検討されており、民間が助成する活動にふさわしいこと  
(以下はアドバンスコースのみの選考の視点)
- 多様な関係者との協力・連携がはかれ、実施可能なマネジメント体制が整っていること
- 他の地域への波及効果やコミュニティスポーツの深まりが期待できること



## 応募用紙の入手方法

【チャレンジコース】と【アドバンスコース】では応募用紙が異なります。各応募用紙は住友生命健康財団の URL よりダウンロードしてください。郵送をご希望の場合は、郵便番号、住所、宛名、連絡先（電話番号）を明記し、「スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム 応募用紙郵送希望」とご記入のうえ、住友生命健康財団宛に FAX にてご連絡ください。

URL: <http://www.skzaidan.or.jp/>  
FAX: 03-3352-2021



## 応募方法

応募用紙に必要な事項を記入した応募企画書を作成のうえ、9月25日（金）必着で、この頁の下に記載してある「応募先」に電子メール、あるいは簡易書留・宅配便などの配達記録の残る手段でお送りください。

- \* 持参での応募は受け付けません。
- \* 応募書類は返却いたしませんので、必ずデータを応募団体で保管ください。
- \* 電子メールでの応募があった場合は、事務局より受付完了のメール通知をします。郵送の場合はハガキで受付通知をお送りします。10月9日（金）までに通知がない場合は、お電話で事務局までお問合せ下さい。
- \* 応募書類に記載の個人情報、「公益財団法人住友生命健康財団の個人情報保護に関する基本方針」を遵守し、適切に管理します。

## 選考結果

選考結果は2021年2月末までに全応募者宛に文書にて通知します。なお、選考総評、助成対象一覧（プロジェクト名、団体名、代表者名、助成金額を記載）、推薦理由などの選考内容は、住友生命健康財団のホームページ、メディア等へのリリースにて公表します。

## 助成開始後のスケジュール

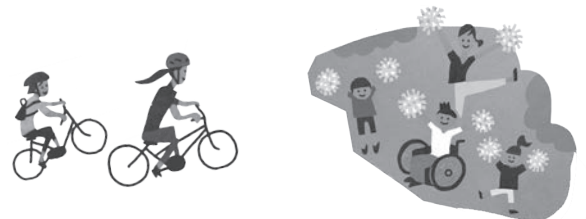
助成決定後の手続き等は以下のとおりです。

- \* 助成決定後、助成に関する覚書を締結したうえで、2021年3月末日までに助成金（全額）を振り込みます。アドバンスコースは、1年目の助成金を2021年3月末日までに、2年目の助成金を2022年3月末日までに振り込みます。
- \* 助成対象者には2021年4月中旬に都内で開催する表彰式にお招きいたしますのでご参加願います。
- \* 【チャレンジコース】は、2021年10月末日までに中間報告書、2022年4月末日までに完了報告書を提出いただきます。
- \* 【アドバンスコース】は、半年ごと（2021年10月末日まで、2022年4月末日まで、2022年10月末日まで）に中間報告書を、2023年4月末日までに完了報告書を提出いただきます。

### < 助成金の使途 >

プロジェクトに関わる費用であって、下表のとおりを想定していますが、必要なものはこれ以外も可とします。

費目	内容
旅費交通費	交通費、宿泊費など
謝金	コーチ謝金、講師料など
会議費	会場代、会議配布資料のコピー代など
広報・通信費	広報・情報発信のための通信費、送料など
賃借料	体育施設賃借料、コート賃借料など
印刷費	チラシなどのデザイン料、印刷代、製本費など
資料費	図書・資料・文献購入費など
機材・備品費	スポーツ用具代など（1点30万円以内）
消耗品費	各種文具等の購入費など
事務局人件費	プロジェクトに関わる事務局スタッフの人件費、アルバイト代など
事務局諸経費	事務所の光熱水費、家賃などでプロジェクトに関わる部分としての按分額



## 応募先・お問い合わせ先

公益財団法人住友生命健康財団 事務局（担当：太田） E-mail: [sports@am.sumitomolife.co.jp](mailto:sports@am.sumitomolife.co.jp)  
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町4-41 住友生命四谷ビル6階  
TEL: 03-5925-8660 FAX: 03-3352-2021





[ご参考] 2019年助成対象 一覧

第1種<新規>助成 (15件、助成金額：726万円)

一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
○		子供からお年寄りまで「みんなで楽しむ」軽スポーツ交流事業	特定非営利活動法人 いろどりライフ	青森県 平川市
○		スポーツで広げるコミュニティ作り	特定非営利活動法人 総合型りくぜんたかた	岩手県 陸前高田市
○		地域で運営するグラウンド・ゴルフ場及び市民農園の活用プロジェクト ～「スポーツ」+「農」による健康づくり・交流促進・地域活性化を目指して～	新浜町内会	宮城県 仙台市
○		スマイルスポーツ！～地域みんながおともだち作戦～	特定非営利活動法人 むらたスポーツクラブ	宮城県 柴田郡 村田町
	○	スポーツでつなぐ障がいをもつ子供と家族が地域とつながるネットワークづくり	重度心身障がい児親子の会スマイリーサン	東京都 北区
○		高齢者のための『転倒予防体操教室』の充実と拡大	特定非営利活動法人 神奈川県転倒予防医学研究会	神奈川県 横浜市
○		地域の公園を遊びと交流の拠点に	特定非営利活動法人 クラブぽっと	石川県 金沢市
○		みんなで富士山麓を清掃トレッキング！	富士山アウトドアミュージアム	山梨県 南都留郡 富士河口湖町
	○	移動に困難を抱える肢体不自由児の参加機会を増やす 「遠隔ポッチャ」試合システム	特定非営利活動法人 ドロップレット・プロジェクト	長野県 千曲市
	○	心疾患患者の予後改善のための運動による支援地域連携システム	岐阜心臓リハビリテーションネットワーク (CR-GNet)	岐阜県 岐阜市
○		健康寿命延伸事業「健康スポレクひろば in 住之江」	公益財団法人 大阪府レクリエーション協会	大阪府 大阪市
	○	発達障がいを持つ青少年のクラブ活動プロジェクト	特定非営利活動法人 アスロン	兵庫県 芦屋市
○		パットゲームスター (室内グラウンド・ゴルフ) で高齢者の健康長寿と仲間づくり事業	鳥取県パットゲームスター協会	鳥取県 東伯郡 湯梨浜町
	○	心身の障がいや長期療養などにより社会参加に困難を抱える人々を 中心としたコミュニティスポーツの実践	アクアクラブ	広島県 三次市
	○	不器用さのある子どもたちのヒップホップダンスプロジェクト ～感覚統合的視点で楽しく苦手を克服しよう！～	非営利活動任意団体 リトル・キッカーズ	香川県 高松市

第1種 <継続>助成 (7件、348万円)

一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
○		【心の健康 (メンテサナ)、体の健康 (クエルボサノ)】 サッカー×教育プロジェクト	Comerciante Osaka FC	大阪府 大阪市
	○	小児がん経験者のためのアーティスティックスイミング	特定非営利活動法人 チャイルド・ケモ・ハウス	兵庫県 神戸市
	○	知的障がい者のバスケットを通じての居場所づくり～日本代表へ	広島市知的障がい者バスケットボールチーム	広島県 広島市
○		「Glocal Journey」コミュニティスポーツを活用した地域の国際化	特定非営利活動法人 ワン・フォー・オール	山口県 宇部市
○		パットゴルフで「おとな」も「こども」も元気いっぱい	クラブネッツ大畑	山口県 長門市
○		走って社会貢献～新しいスタイルのマラソン大会「Adventure」	NPO法人 改革プロジェクト	福岡県 宗像市
	○	障がいのある子どもたちの「楽しい」スポーツ・水泳プロジェクト	鹿児島パラアスリートクラブ	鹿児島県 鹿児島市

第2種 <新規>助成 (4件、645万円)

一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
○		北海道岩見沢市のスノースポーツ・コミュニティ再構築プロジェクト ～北欧発祥の「ヒールフリー」のスキー・プログラムを活用して～	一般社団法人 SLDI	北海道 岩見沢市
○		住民が住民に伝える「シルバーリハビリ体操 (介護予防体操)」× 「健康講話紙芝居 (健康教育)」で目指す健康寿命の延伸	NPO法人 日本健康加齢推進機構	茨城県 水戸市
○		スポーツを通し山の魅力を伝え継ぐ～山離れなんてもったいない！～	NPO法人 武尊根BASE	群馬県 利根郡 片品村
	○	地域で支える知的障がい児・発達障がい児対象のサーフィンスクール	認定NPO法人 Ocean's Love	神奈川県 茅ヶ崎市

第2種 <継続>助成 (2件、399万円)

一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
	○	発達凸凹の子ども達が輝くインクルーシブな柔道環境をつくる三つの取り組み ～ワークショップとオンライン相談会、有志がつながる全国サミット、電子書籍～	特定非営利活動法人 judo3.0	宮城県 牡鹿郡 女川町
	○	誰もが一緒に安全で安心して海洋 スポーツ (パラダイビング) を楽しめる推進プロジェクト	特定非営利活動法人 オーシャンゲートジャパン	大阪府 大阪市

\*2019年助成の助成種別の区分等は2020年とは異なります。